

「(様式第4号)

上田城南地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田城南地域協議会
2 日時	令和3年3月18日 午前10時00分から正午まで
3 会場	城南公民館 1階 大ホール
4 出席者	相田委員、小野澤委員、小林委員、田玉委員、龍野委員、田中委員、原田委員、増澤委員、松田委員、宮澤委員、安江委員、柳澤委員、山岸委員、若林委員、渡邊規夫委員、渡辺里香委員
5 市側出席者	【事務局】村山城南地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、西澤地域内分権推進担当主査、片山地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年3月31日

協議事項等

次第

- 1 開会
- 2 会長よりあいさつ
- 3 協議事項

(1) わがまち魅力アップ応援事業審査

【事務局より資料を基に説明】

千曲清流会---採択---

(2) 城南地域の課題について

(会長) 次回4月の地域協議会において、各部会での現在の進捗状況について10分程度で発表をお願いするようになりますので、よろしくお願ひしたい。

各部会協議

「防災」

以下、委員からの主な意見

- ・ 一昨年の台風19号災害に関して自治会組織の見直しを図った。
- ・ ほとんどの自治会の役員は一年で交代することがほとんどだが、役員とは別に専任で業務を行う人に専任する方式を採用したところもある。災害時の情報伝達もメール配信、SNS を使える数人をお願いすることをはじめている。
- ・ 情報伝達システムは、複数の地域で協働して取り組むことで費用負担は少なくて済む。
- ・ WiFi 環境があれば、いろいろなシステムが利用できる。各自治会で検討するとともに、小中学校、公共施設など市が避難所に指定した施設には WiFi 環境を整備してほしい。
- ・ 地域協議会、自治会はじめ、住民自治組織でも取り組んでほしい。
- ・ 情報伝達は、従来の紙ベースと、ネットシステムなどを併用する必要があるが、短時間で仕組みができて上がるものではない。
- ・ 自治会でも、役員は一年だけの辛抱、何か検討するのは面倒と思っている人もいるが、得意な人を充てて進めている地域もある。

「高齢者福祉」

以下、委員からの主な意見

- ・ B型デイサービスによる支援制度を多くの地域に広めていかれるのがよいのではないか。
- ・ 包括支援センターから助言をうけたり意見交換していくのはどうか。
- ・ 移動手段についても検討する必要がある。
- ・ 地域へ今ある活動をいかにして広められるか戦略が必要。
- ・ 回覧に参加者の声を載せたらどうか。

「産業振興」

以下、委員からの主な意見

- ・ 地域にある店舗を知らないと大型店に行くことになるので、地域にどういった店舗があるかを知る必要がある。
- ・ 店舗側が一斉に情報発信できる SNS を活用したらよい。
- ・ 地域住民に知ってもらうためには、インターネットの活用が必要であるが、電話で対応できる環境もあった方がよい。
- ・ 地域の店舗一覧を掲載したパンフレットを作成し、それぞれの店舗の詳細はユーチューブ動画で確認できるよう、そのパンフレットに QR コードも掲載するとよい。
- ・ 市から商工振興会が実施するお祭りなどのイベント等に補助金が交付されるが、パンフレットの作成も補助に対象になるか（次回までに市担当課へ確認）

4 その他

次回の開催予定

日時 4月15日(木) 午前10時から

場所 城南公民館 大ホール

5 閉会